

平成 29 年 10 月 12 日

## 当社単独では維持困難な線区のご説明状況について

### 1 地域の皆様へのご相談状況について

#### (1) ご相談状況

別紙

#### (2) 地域の皆様に対するご説明内容の例

##### ① 経営情報

##### ② 線区情報

	具体的内容
概況	・沿線の概況(線区の歴史・線区の諸元) ・輸送密度の推移(昭和50年度～平成27年度) ・定期列車本数の推移(昭和62年度～平成28年度)
利用状況	・駅間のご利用状況 平成27年度乗降人員調査車内乗車人数 平成27年度定期券利用実績(駅区間発着別1日当たり人数) ・列車体系(運用図表) ・列車別利用状況(列車別乗車人員) ・駅の乗車人員 ・高校生の通学状況(高校別・駅区間発着別) ・通勤・通学定期の発売状況(定期券月平均発売枚数)等
収支	・収支状況(収入・費用(内訳)・損益) ・各費用の内訳
土木構造物等の今後(20年間)の大規模修繕・更新費用(概算)	・土木構造物の概況 ・試算した大規模修繕・更新費用の考え方 ・大規模修繕・更新の一例 橋りょう・トンネル・ホーム・乗換跨線橋 ・土木構造物の大規模修繕・更新費用 ・車両の更新費用 ・新型ATSの整備について等

##### ③ 意見交換等の状況

○ 多くの線区(輸送密度200人以上2,000人未満の線区)でウ「日常的な利用促進」を端緒としてご相談を行っており、ア「経費節減」についてのご相談に応じてくださっている線区も増えてきております。

ア 設備の見直しやスリム化、ご利用の少ない駅の廃止や列車の見直しによる経費節減

イ 運賃値上げ(全道又は線区毎)によりお客様に応分の負担をしていただく方法

ウ 沿線の皆様に日常的に鉄道をご利用いただく利用促進策

エ 運行会社と鉄道施設等を保有する会社とに分ける上下分離方式

#### ④ 今後の情報開示について

- 上記のご説明を行ってきましたが、当社からのご説明に対して、資料内容や経営状況などについて頂戴したご質問にご回答してまいりました。
- また、ご利用状況や経費の内訳など、追加のデータを提供してほしいというご要望に対して、「地域の皆様からのご質問に対して、あるデータは全てお応えする」こととしてきました。
- 情報が不足することのないよう、引き続き地域の皆様からのご質問に丁寧にご回答していきたいと考えております。
  - ※ 自治体からご要望をいただき提供しているデータの例
    - ・ 無人駅の年間維持管理費（除雪費用、修繕費、検査費、光熱水費） など

## 2 今後の進め方について

- 引き続き地域の皆様と真摯にご相談させていただきたいと考えております。

### (1) 「輸送密度 200 人未満の線区」に該当する地域

- 鉄道より他の交通機関が適しており、利便性・効率性の向上も期待できると考えており、引き続きバス等への転換についてのご相談を継続し、ご理解いただけるよう努めてまいります。

### (2) 「輸送密度 200 人以上 2,000 人未満の線区」に該当する地域

- 線区を維持するために必要な金額を圧縮し将来の負担を減らすために「ア」「イ」「ウ」についてご相談するとともに、「エ」の活用についてもご相談し、鉄道輸送サービスを持続的に維持していくためのコストを、当社を含めて、「誰がどのように負担するか」について、地域の皆様を始め国や関係機関を含め、引き続きご相談申し上げたいと考えております。
- 当社単独では維持することが困難な状況にありますが、国の既存の支援制度等を活用しつつ、当社の応分の負担を前提に、地域の皆様などにより新たな仕組みを作り線区を維持していくことができないか、皆様とご相談してまいります。

## 当社単独では維持することが困難な線区の地域へのご相談状況

線 区	ご相談状況
<b>1. 輸送密度 200 人未満の線区</b>	
(1) 札沼線（北海道医療大学・新十津川間）	・ 札沼線に係わる沿線 4 町意見交換会にて、経営状況等をご説明。線区状況等は各町個別にご説明。
(2) 根室線（富良野・新得間）	・ 根室本線対策協議会（事務レベル検討会議）にて、線区状況および経営情報をご説明。
(3) 留萌線（深川・留萌間）	・ 線区状況等は各市町個別にご説明。
<b>2. 既に協議を開始している線区</b>	
(1) 石勝線（新夕張・夕張間）	・ 昨年 8 月の線区廃止に向けた合意を行い、以降、バス等による持続可能な交通体系についてご相談。
(2) 日高線（鶴川・様似間）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ J R 日高線沿線自治体協議会にて、線区状況および経営情報をご説明。本年 2 月に復旧断念並びにバス等への転換に向けた協議開始のお願い、およびバス転換時の支援 8 項目についてご説明。</li> <li>・ J R 日高線（鶴川～様似間）沿線地域の公共交通に関する調査・検討協議会にて DMV・BRT・乗合バスのいずれかを代替交通とするか方向性を定める方針とお聞きしております。</li> </ul>
<b>3. 輸送密度 200 人以上 2,000 人未満の線区</b>	
(1) 宗谷線（名寄・稚内間）	・ 宗谷本線活性化推進協議会（幹事会）にて、線区状況および経営情報をご説明。利用促進策についてご相談。
(2) 石北線（新旭川・網走間）	・ オホーツク圏活性化期成会・上川地方総合開発期成会合同石北本線部会（作業部会）にて、線区状況および経営情報をご説明。利用促進策についてご相談。
(3) 釧網線（東釧路・網走間）	・ オホーツク圏活性化期成会釧網本線部会にて、線区状況および経営情報をご説明。
オホーツク管内	
釧路管内	
(4) 根室線（釧路・根室間）	・ 釧路地方総合開発促進期成会 J R 花咲線・釧網線対策特別委員会にて、線区状況および経営情報をご説明。
釧路管内	
根室管内	・ 根室地方総合開発期成会根室本線花咲線対策特別委員会にて、線区状況および経営情報をご説明。
(5) 根室線（滝川・富良野間）	・ 根室本線対策協議会（事務レベル検討会議）にて、線区状況および経営情報をご説明。利用促進策および経費節減策についてご相談。
(6) 富良野線（富良野・旭川間）	・ J R 富良野線連絡会議（利用促進検討部会）にて、線区状況および経営情報をご説明。利用促進策についてご相談。
(7) 室蘭線（沼ノ端・岩見沢間）	
空知管内	・ 南空知首長懇談会にて、線区状況および経営情報をご説明。
胆振管内	・ 東胆振 5 市町に、線区状況および経営情報をご説明。
(8) 日高線（苫小牧・鶴川間）	・ 経営情報等を各市町個別にご説明。